

手ほどき受け紙すき

増田高生「十文字和紙」作り体験

横手市の増田高校の生徒が「十文字和紙」作りを体験し、紙すき

横手市の増田高校の生徒が「十文字和紙」作りを体験し、紙すきに挑戦。和紙で作ったランブシェードも披露した。

横手市の増田高校の生徒が「十文字和紙」作りを体験し、紙すきに挑戦。和紙で作ったランブシェードも披露した。



十文字和紙愛好会メンバー（手前左）の手ほどきを受け、紙すきに挑戦する生徒



生徒はのりの材料となるリウツギを削る作業にも励んだ

で勉強になった。将来に伝統が継承されてほしい」と話した。

家業として十文字和紙の技術を継ぐ唯一の職人佐々木清男さん(80)は作業を員守り、「若い人は飲み込みが早い。意欲的に学んでくれるのは頼もしい」と語った。

生徒は、探究活動の成果として十文字和紙を使って独自のな形に仕上げたランブシェードも披露した。作品は4月上旬から約1カ月間、市増田まんが美術館に展示される予定。

(佐藤悠太)



生徒は十文字和紙でオリジナルのランブシェードを作った